

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら用賀

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	7	1	事前にスタッフ間で効率の良く療育ができるように考えてプログラムを決めている	引き続き支援の充実化を図っていく
	② 職員の配置数は適切であるか	6	2		法令上の配置数は満たしているため、引き続き継続していく
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	3	面談室を新しく設置した。	バリアフリーについては今後必要に応じて設計を検討する。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	8	0	毎日きちんと掃除を行い毎月物品などの消毒を行い環境を整えている	継続して清掃や器具や備品の消毒・修繕を都度行っている。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	7	1	その都度ケース会議や話し合いを行なっている	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	8	0	ご意見を参考に、改善可能な点から取り組みを行っている。	保護者のニーズを把握し、改善に繋げていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	ホームページで公開し誰でも見られるようになっている	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		第三者評価は行っていない。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	社内研修だけでなく外部の研修にも参加できる体制を整えている	研修の回数が足りていないと感じることもあるため、内部外部ともに研修を増やし支援の充実化を図っていききたい。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	1	ASQ-3の実施	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	ASQ-3の実施	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	2	ご家族のニーズをお聞きし、ケース会議等で子どもの支援を考えている。	家族支援と地域支援については充実していないため、研修などを行い支援内容に落とし込んでいく。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	ご家族のニーズをお聞きし、ケース会議等で子どもの支援を考えている。	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2	個別支援計画を確認しながらスタッフみんなでプログラムを考えている	今後も同じやり方で行なっていく
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		引き続き支援の充実化を図っていく
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	1		引き続き支援の充実化を図っていく
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		引き続き行なっていく
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	終礼を行い一日の出来事や子どもの様子を共有するようになっている	引き続き行なっていく
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	研修を行い他者との書き方の違いがないようにしている	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直し必要性を判断している	8	0		引き続き支援の充実化を図っていく

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら用賀

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2	積極的に参加できるように体制を整えている	引き続き支援の充実化を図っていく
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	5		地域や公的機関との繋がりが少ないため、協力できる体制を作って行きたい
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	7		受け入れしていない。関係機関との連携した支援は行なっていきたくと考えている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	7		受け入れしていない。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	5	学校見学などには積極的に参加している	学校見学時にお話しをすることぐらいしかできていないため学校との情報交換も行っていきたい。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	5	学校見学などには積極的に参加している	保護者要望に応じて適宜共有を実施している
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	6		支援計画更新のタイミングで情報共有は行なっている。今後は合同研修が行なえるように検討する。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7		保護者のニーズにない。必要に応じて機会の確保を検討する。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	5		協議会には参加しているが、地域の会議などには参加することができていないため、参加できるように検討する
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	毎回フィードバック時にお子様の状況を詳しく聞くことを心掛けている	引き続き支援の充実化を図っていく
保護者への説明責任等	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	6		ペアレントトレーニングは行なっていない。講演会などの実施を検討したい。
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		引き続き支援の充実化を図っていく
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		引き続き支援の充実化を図っていく
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		引き続き支援の充実化を図っていく
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6		実施の要望はあまりないが保護者の意見が届きやすい様に実施を検討する
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	2		引き続き支援の充実化を図っていく
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	ホームページ上に会報などを発信している	引き続き行っていく
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意している	7	1	書類は鍵付きのキャビネットで管理している。	引き続きスタッフ間の会話などにも留意し、個人情報の取り扱いに注意する
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	構造化・視覚化等、検討し作成している。	引き続き支援の充実化を図っていく
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた	2	6		開催する事ができていない。今後の開催を検討する

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら用賀

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	④0 事業運営を図っている	2	0		開催する事ができていない。今後の開催を検討する
非常時の対応	④1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	きちんとマニュアルを作成し発生を想定した訓練を行なっている。	保護者への周知を強化する。
	④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	定期的に消防署と連携し実施している	順番で行なっているため、参加できない方もいる。
	④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0		引き続き支援の充実化を図っていく
	④4 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	6		食事を提供していない。控え室に掲示物などで注意喚起を行なっている。
	④5 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	終礼にて確認を行い共有することで事故防止に努めている	引き続き支援の充実化を図っていく
	④6 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		引き続き支援の充実化を図っていく
	④7 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0		対象児童はいないがマニュアルを作成し対応の仕方を共有している

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。